



仙波糖化工業株式会社

証券コード：2916

2026年3月期 第1四半期決算補足説明資料

2025年8月8日

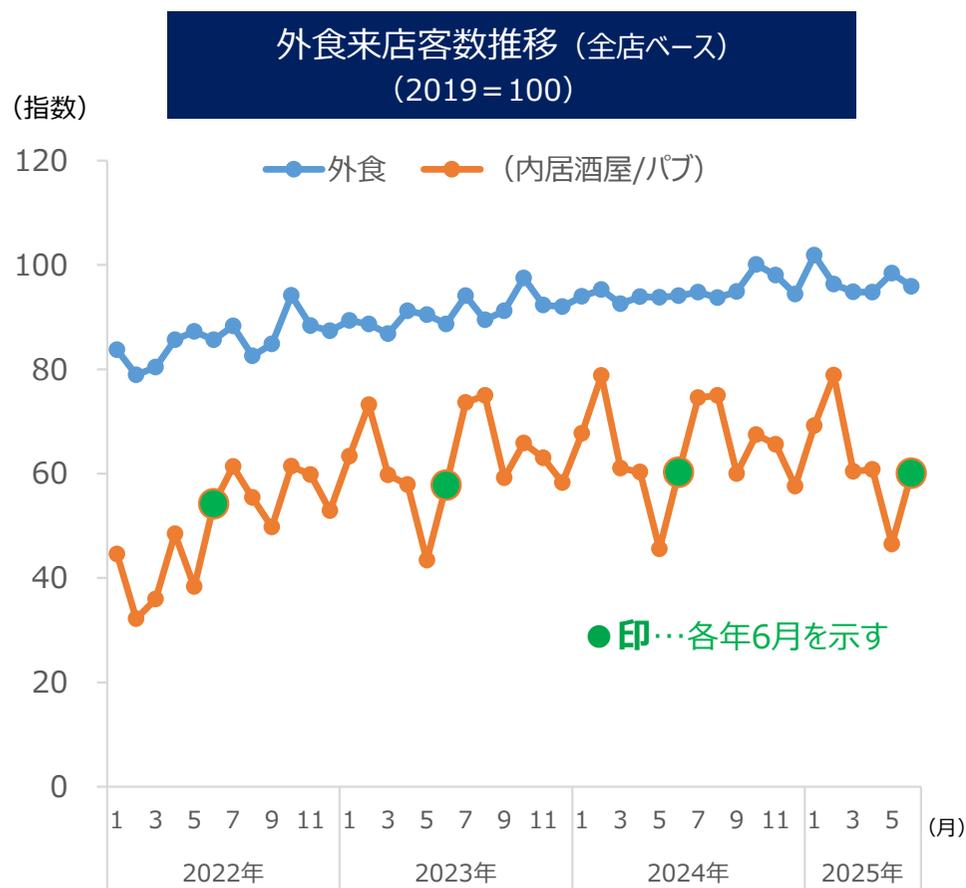
- ✓売上高は、龍和食品の連結除外による減少分を
乾燥製品類や冷凍山芋製品等の伸長でカバーし、2.7%増収
(事業継承ベースでは7.6%の増収)
- ✓営業利益は、値上げ効果と数量効果による生産性向上もあり、59.6%増益

(単位：百万円、円)

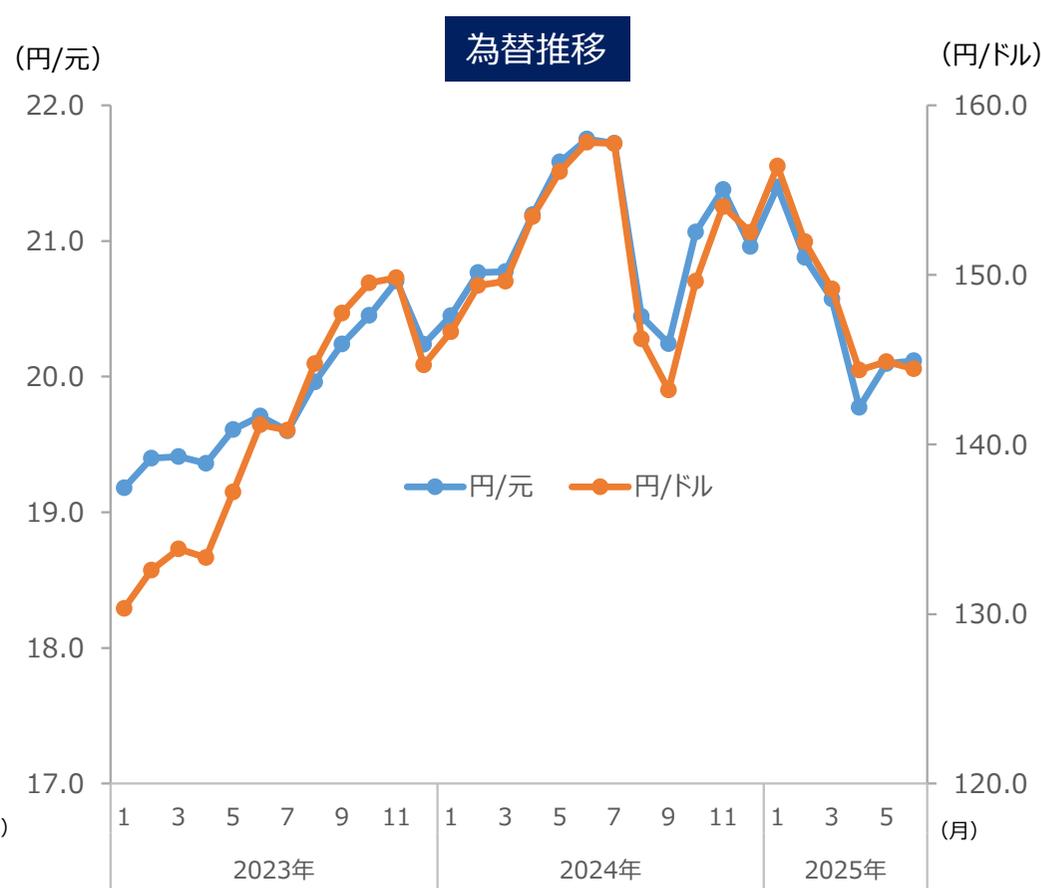
	2025/3期 (1Q)		2026/3期 (1Q)		
	金額	前同比 伸び率	金額	前同比 伸び率	上期予想 進捗率
売上高	4,677	▲1.9%	4,804	+2.7%	50.0%
営業利益	135	▲23.1%	216	+59.6%	72.0%
経常利益	196	▲1.5%	157	▲20.2%	52.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	103	▲29.9%	63	▲38.2%	31.9%
1株純利益	9.06	-	5.60	-	-
減価償却費	223	+1.0%	187	▲15.9%	-
研究開発費	68	+7.7%	79	+15.5%	-

外食来店客数は、新型コロナ禍以前の95%程度まで回復しているが、居酒屋/パブの回復は頭打ちか

米国の関税政策公表以降は対ドルで円高基調で推移するも、先行きの不透明感続く



(出所) 日本フランチャイズチェーン協会、日本フードサービス協会

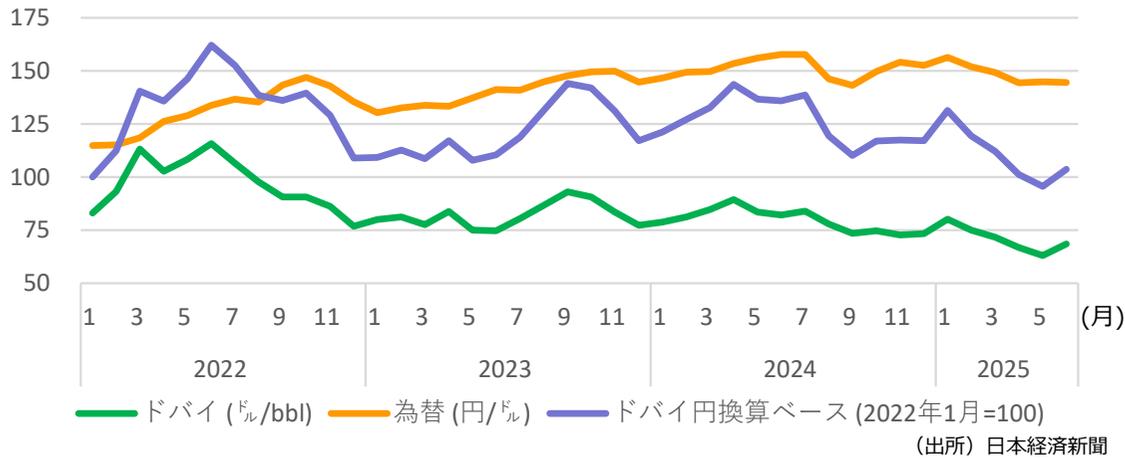


(出所) 日本経済新聞

原・燃料価格動向

2026/3期第1四半期実績

【原油価格推移 (為替影響を反映)】



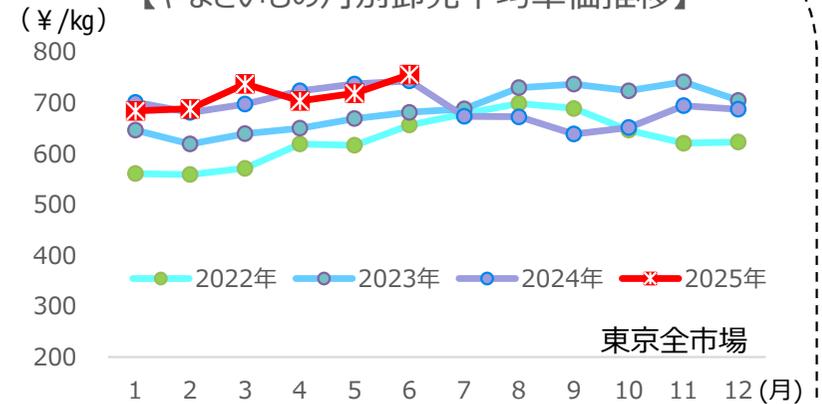
【ニューヨーク粗糖市況推移】



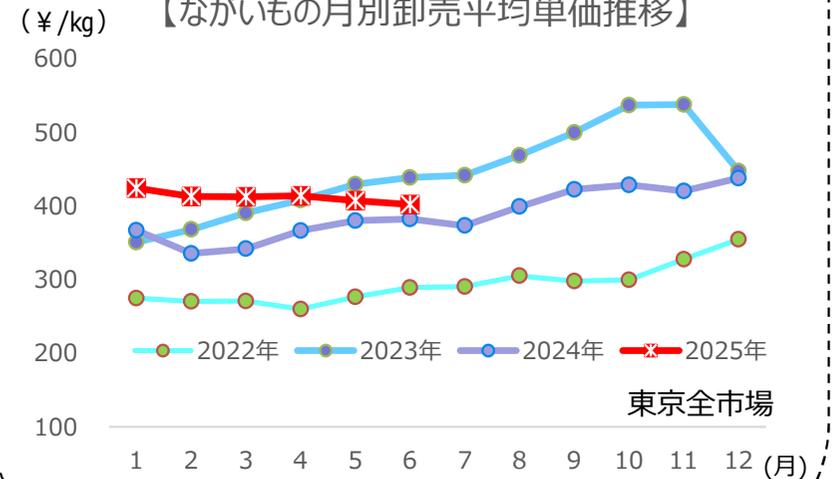
【鶏卵価格推移】
(2022年1月 = 100)



【やまといもの月別卸売平均単価推移】



【ながいもの月別卸売平均単価推移】



(出所) 東京都中央卸売市場

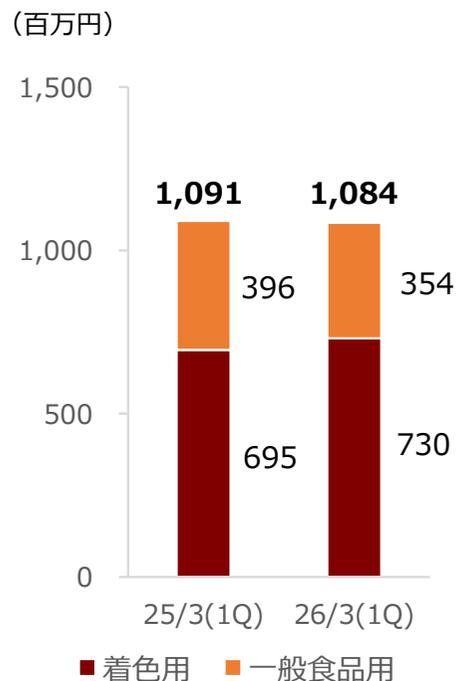
- ✓カラメル製品は、一般食品用が減少も、海外の着色用需要を取り込み ほぼ計画線
- ✓乾燥製品類は、粉末茶回復、粉末調味料類の需要堅調で前期比8.2%伸長
- ✓組立製品類は、ヘルスケア商材受託に回復の兆し
- ✓冷凍製品は、海外の冷凍デザート取り込みなくなるが*、冷凍山芋・和菓子が堅調

(注*) 1Qは中国龍和食品の連結除外の影響のこる

(単位：百万円)

	2025/3期 (1Q)			2026/3期 (1Q)		
	金額	構成比	前同比 (伸び率)	金額	構成比	前同比 (伸び率)
売上高	4,677	100.0%	▲1.9%	4,804	100.0%	+2.7%
カラメル製品	1,091	23.3%	+5.1%	1,084	22.6%	▲0.6%
乾燥製品類	1,667	35.6%	+17.7%	1,803	37.5%	+8.2%
組立製品類	780	16.7%	▲22.5%	849	17.7%	+8.8%
冷凍製品	871	18.6%	▲15.9%	787	16.4%	▲9.6%
その他	267	5.8%	▲0.0%	279	5.8%	+4.8%
自社商材	3,236	69.2%	+6.1%	3,440	71.6%	+6.7%
受託商材	1,441	30.8%	▲16.0%	1,364	28.4%	▲6.2%
海外売上高	311	6.7%	▲36.1%	126	2.6%	▲59.3%

カラメル製品



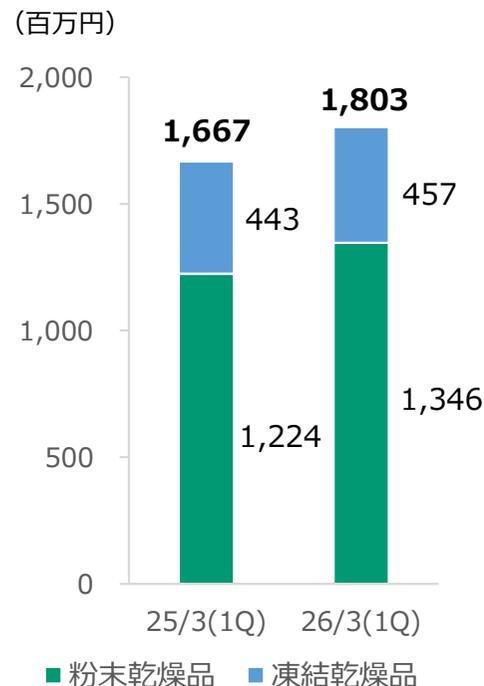
一般食品用

- ・飲料用需要が減少するも、プリン、アイスクリーム向けは堅調

着色用

- ・飲料向け需要が増加
- ・海外市場営業効果

乾燥製品類



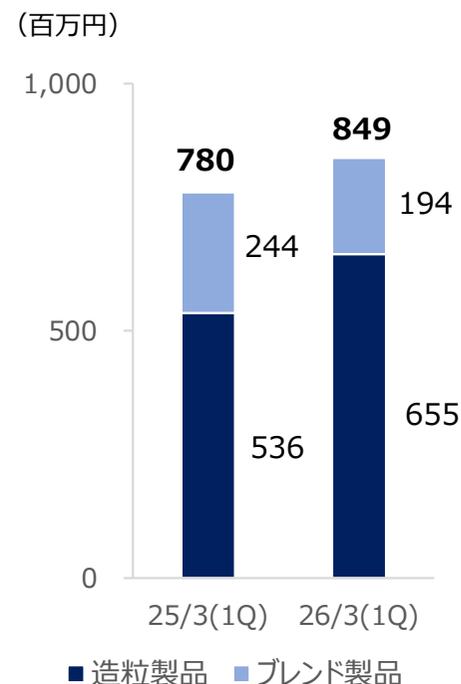
凍結乾燥製品

- ・国内の即席麺向け堅調

粉末乾燥製品

- ・粉末醤油等の調味料類が増加
- ・給茶機向け粉末茶需要回復

組立製品類



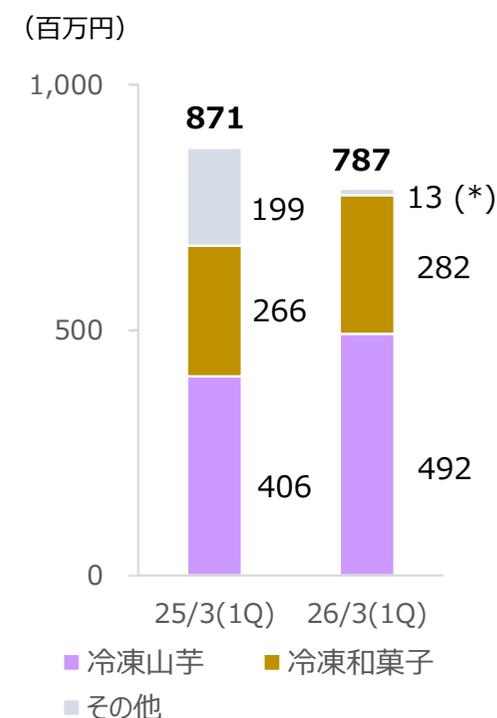
ブレンド製品

- ・焼きそばソース向けが堅調も、調味料関連の受託商材減少

造粒製品

- ・スープ類の受注が堅調
- ・スポーツサプリ受託に回復の兆し

冷凍製品



その他

- ・中国の冷凍デザート減少(*)

冷凍和菓子

- ・どら焼き・ドームケーキ堅調

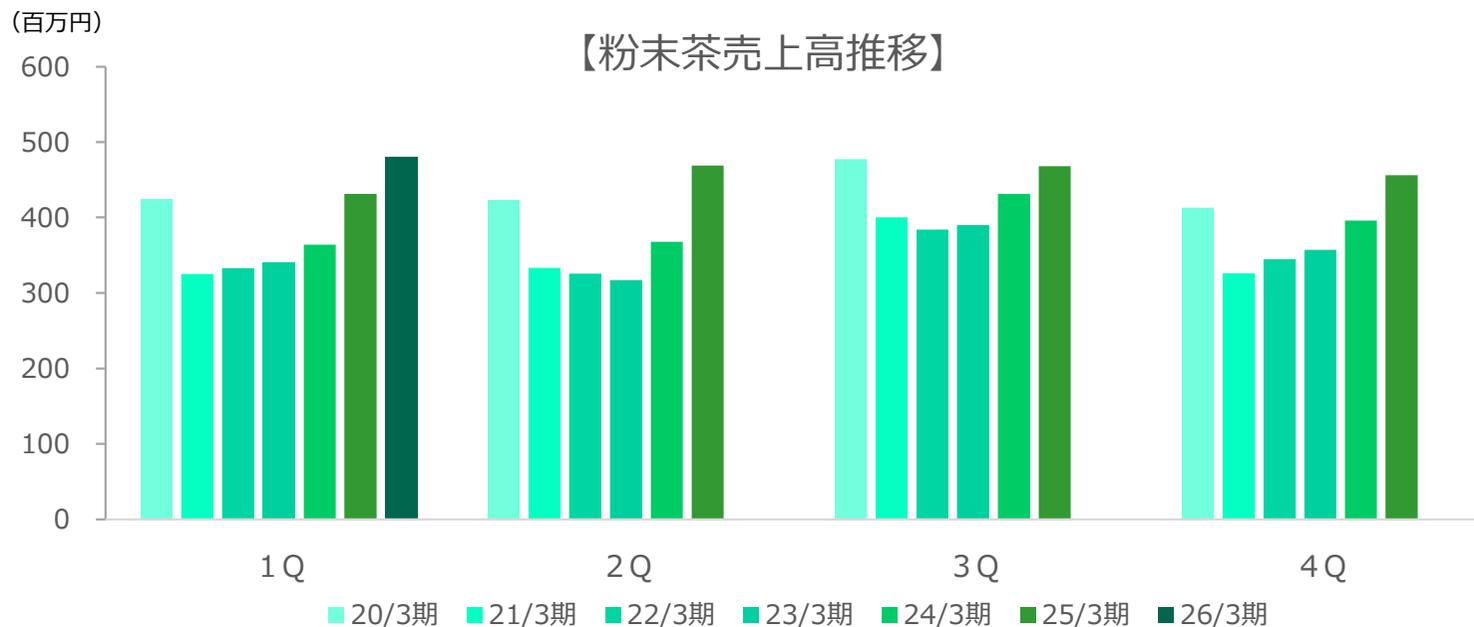
冷凍山芋

- ・気温高く、CVS向け需要が増加
- ・外食向け提案営業効果

(注*) 龍和食品の連結除外の影響

①粉末茶

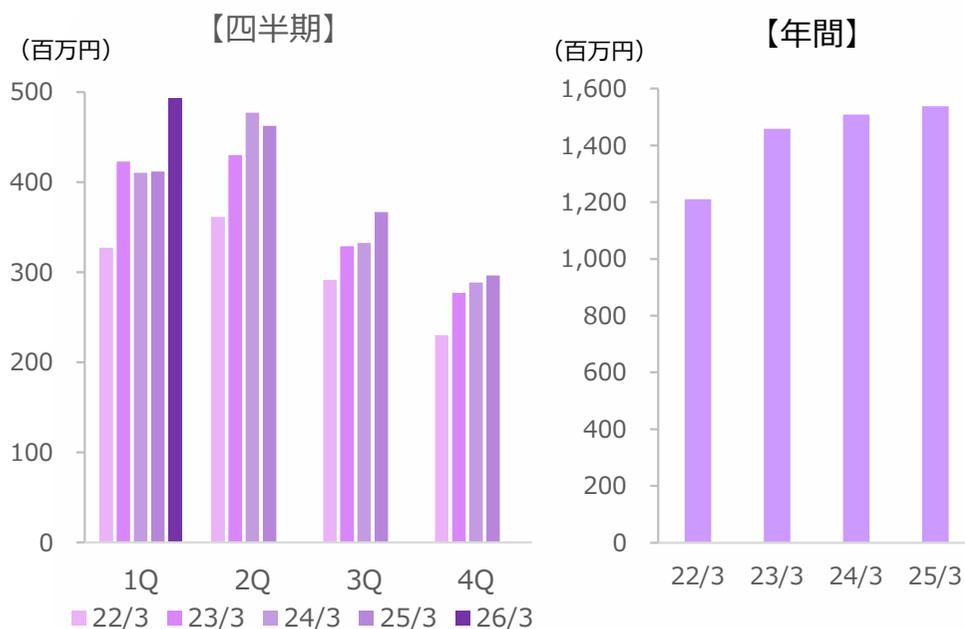
- ✓ 給茶機向け需要回復し、前年同期比で2期連続2桁の伸び率
- ✓ 非給茶機向けにおいては新規顧客開拓も寄与



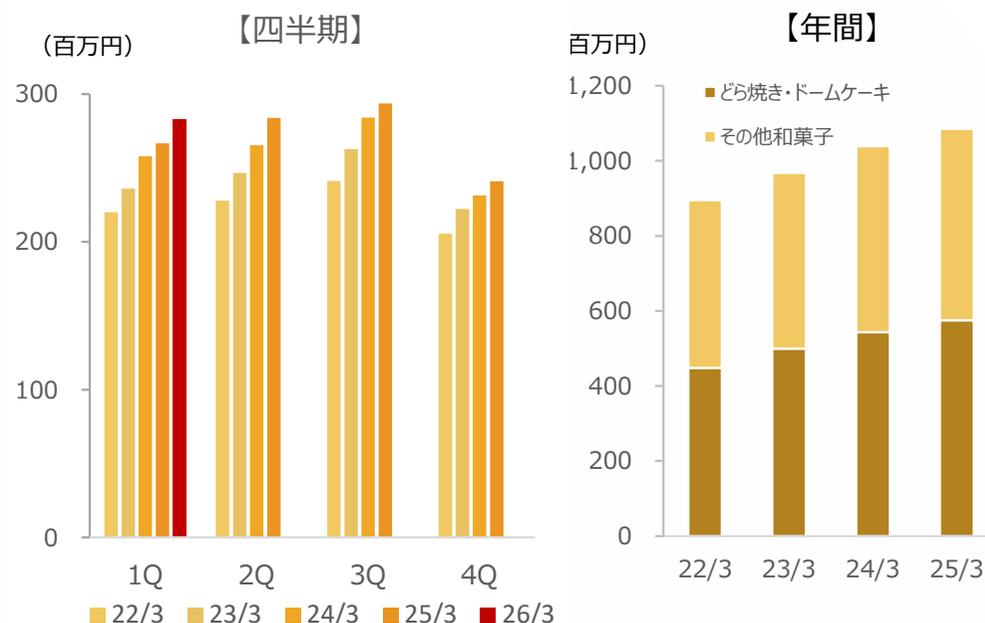
②冷凍製品

- ✓ 冷凍山芋は、天候要因や外食向け提案営業で前年同期比約20%伸長
- ✓ 冷凍和菓子は、どら焼き・ドームケーキが堅調

冷凍山芋売上高

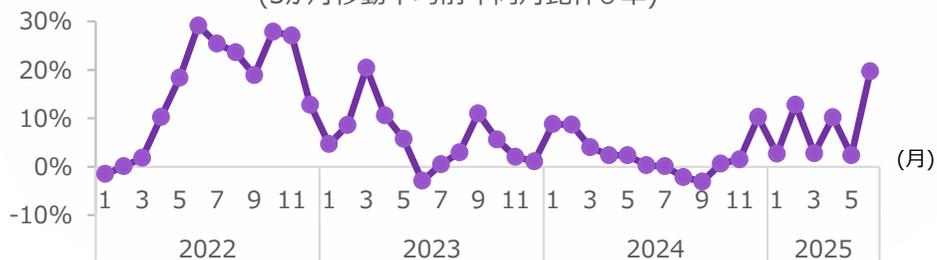


冷凍和菓子売上高



【月次動向】

(3か月移動平均前年同月比伸び率)



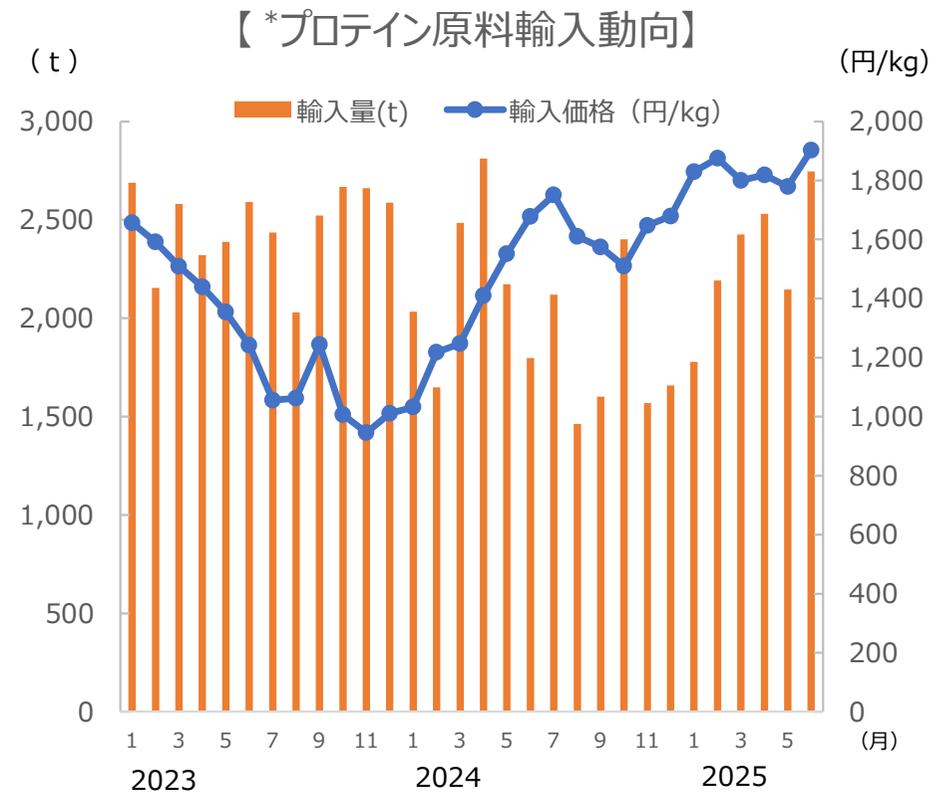
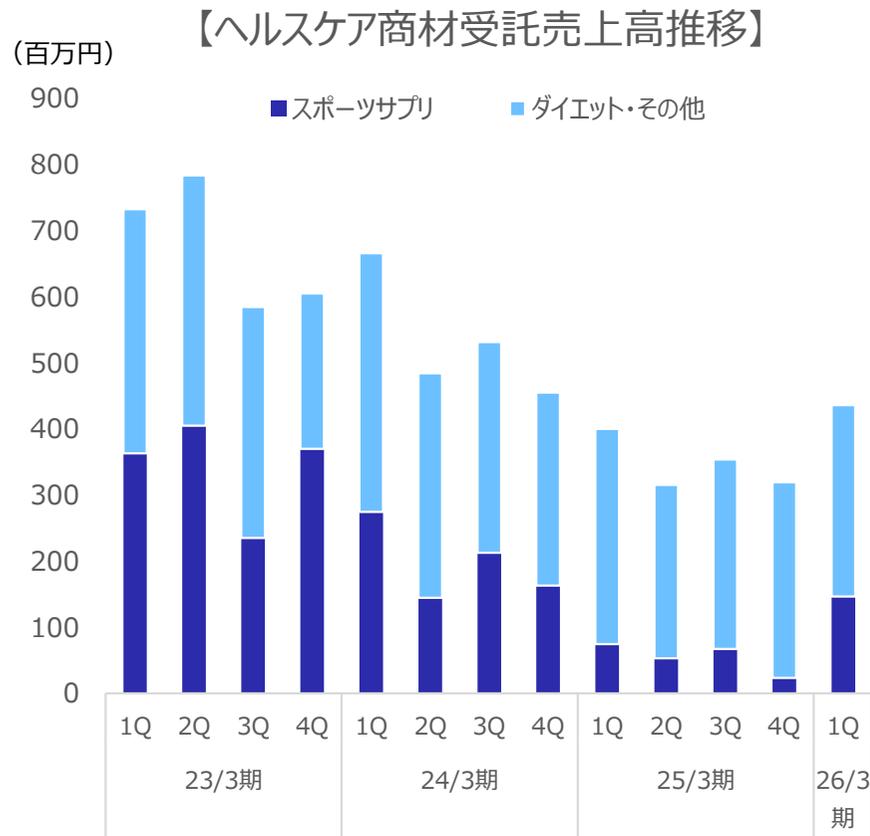
【月次動向】

(3ヶ月移動平均前年同月比伸び率)



③ヘルスケア商材受託

✓ プロテイン原料の輸入価格は高値続くも、
スポーツサプリが5 四半期前の水準に回復、ダイエット・その他は横ばい



(*)プロテイン原料：ミルクアルブミン（2以上のホエイたんぱく質の濃縮物を含む）

(出所) 財務省貿易統計

- ✓ 原材料費が増加するも、生産性改善で、原価率を0.4ポイント圧縮
- ✓ 研究開発費が増加も、経費削減を推進し、営業利益率は1.6ポイント向上

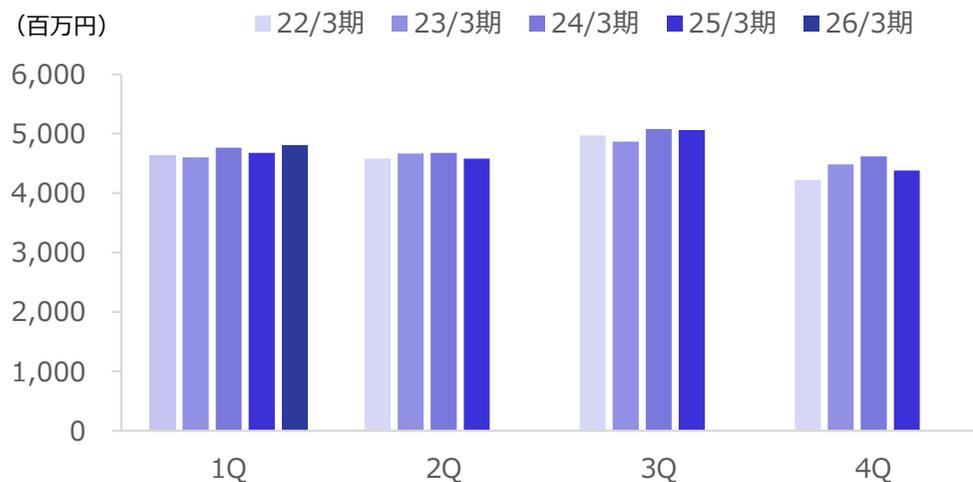
(単位：百万円)

	2025/3期(1Q)		2026/3期(1Q)		
	金額	構成比	金額	構成比	構成比変化
売上高	4,677	100.0%	4,804	100.0%	-
売上原価	3,654	78.1%	3,734	77.7%	▲0.4ポイント
売上総利益	1,023	21.9%	1,069	22.3%	+0.4ポイント
販管費	887	19.0%	853	17.8%	▲1.2ポイント
営業利益	135	2.9%	216	4.5%	+1.6ポイント
営業外損益	61	1.3%	▲58	▲1.2%	▲2.5ポイント
経常利益	196	4.2%	157	3.3%	▲0.9ポイント
特別損益	6	0.1%	-	-	▲0.1ポイント
税引前利益	203	4.3%	157	3.3%	▲1.0ポイント
親会社株主に帰属する 四半期純利益	103	2.2%	63	1.3%	▲0.9ポイント

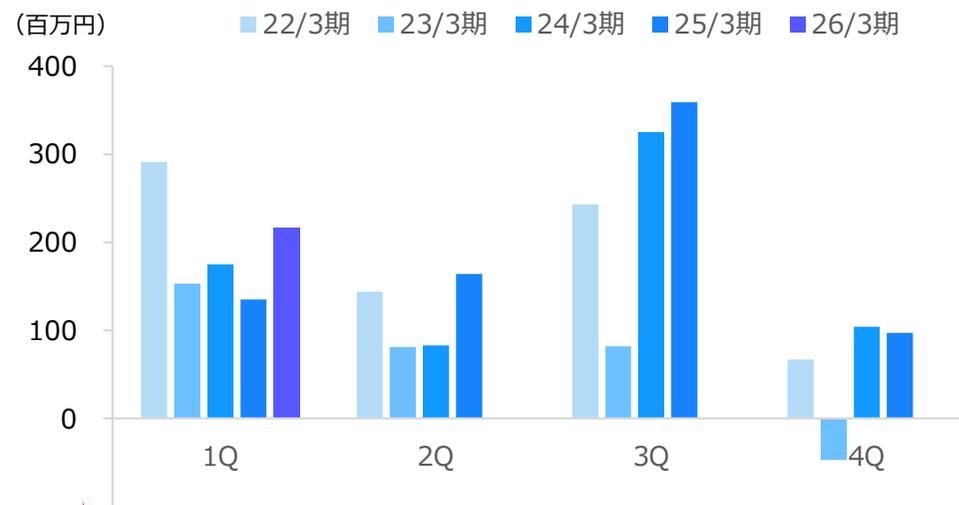
(百万円)

	25/3 1Q	26/3 1Q
営業外収益	83	→ 45
営業外費用 (金融収支) (為替差損益)	22	→ 104
	▲6	→ 25
	60	→ ▲79
特別利益	23	→ -
特別損失	17	→ -

【四半期売上高推移】



【四半期営業利益推移】

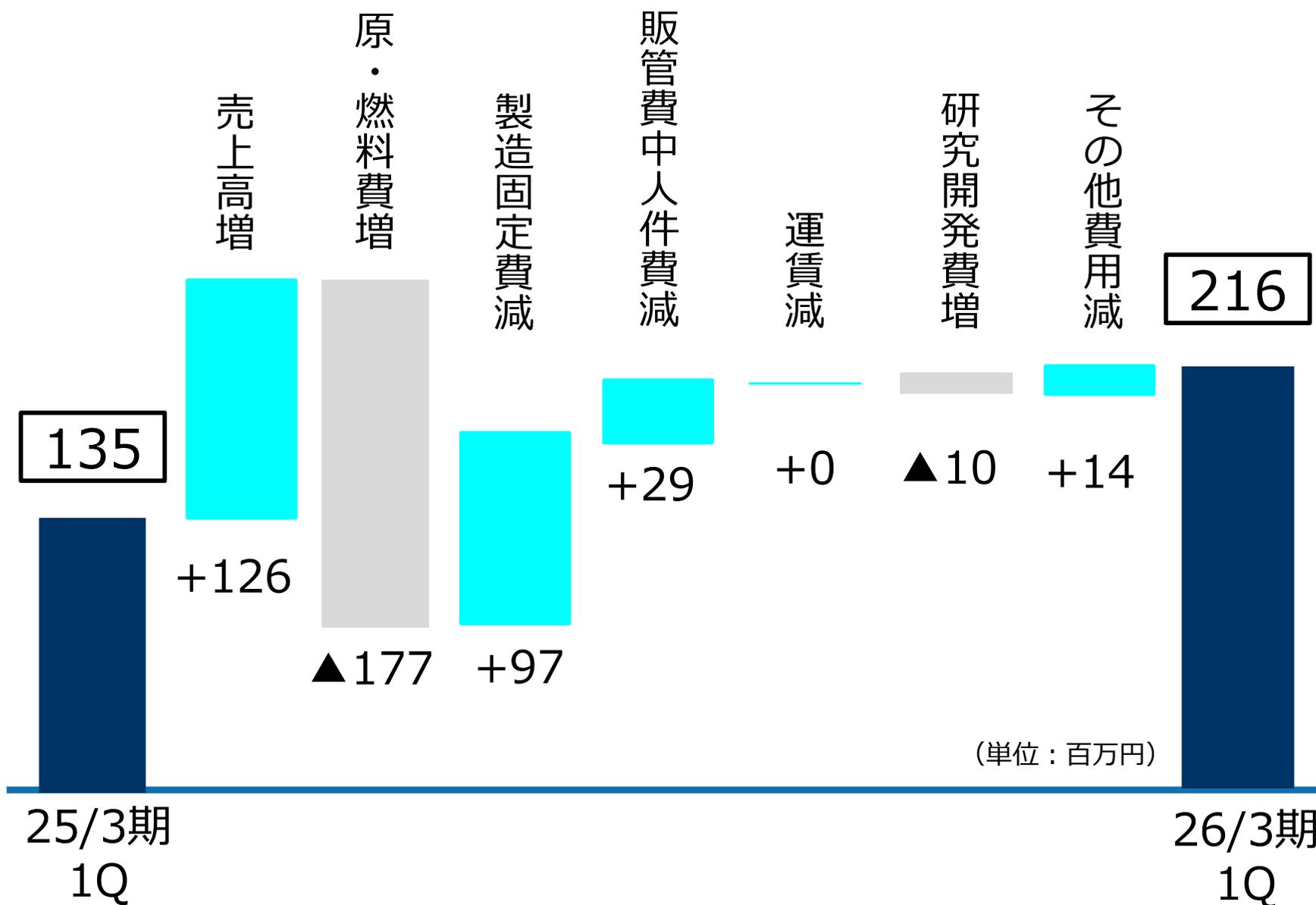


(単位：百万円)

	23/3期				24/3期				25/3期				26/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	4,603	4,669	4,868	4,479	4,765	4,677	5,077	4,617	4,677	4,580	5,062	4,381	4,804
カaramel製品	988	998	1,076	958	1,038	1,019	1,176	998	1,091	1,131	1,277	1,017	1,084
乾燥製品類	1,438	1,381	1,616	1,480	1,416	1,495	1,683	1,590	1,667	1,702	1,875	1,708	1,803
組立製品類	1,046	1,095	938	910	1,007	811	984	960	780	722	910	827	849
冷凍製品	845	923	906	851	1,035	1,054	895	796	871	761	672	549	787
その他	283	270	330	277	267	296	338	273	267	262	326	278	279
営業利益	153	81	82	▲46	175	84	325	105	135	164	359	96	216

営業利益増減分析

2026/3期第1四半期実績



(※) 1 Qは、龍和食品の連結除外の影響残るため比較障害あり
 事業継承ベースでは、上表対比で、製造固定費及び販管費中人件費が圧縮、運賃及びその他経費が増加

要約貸借対照表

2026/3期第1四半期実績

(単位：百万円)

	2025/3末	2025/6末	増減額
流動資産	11,173	11,273	+99
現金及び預金	3,081	3,070	▲11
受取手形及び売掛金※	4,157	4,428	+271
棚卸資産	3,779	3,662	▲117
固定資産	9,486	9,531	+44
有形固定資産	5,069	4,974	▲95
無形固定資産	550	507	▲42
投資その他資産	3,866	4,049	+182
資産合計	20,660	20,805	+144

棚卸資産 ▲117 百万円
 ・商品及び製品 ▲60 百万円
 ・仕掛品 ▲64 百万円
 ・原材料及び貯蔵品 +7 百万円

※電子記録債権を含む

流動負債	6,682	6,729	+47
支払手形及び買掛金※	2,204	2,017	▲186
短期借入金	2,898	3,454	+556
固定負債	2,120	2,202	+81
長期借入金	572	509	▲63
負債合計	8,802	8,931	+129
純資産合計	11,858	11,873	+15

有利子負債 ▲493 百万円
 ・短期借入金 +556 百万円
 ・長期借入金 ▲63 百万円

⇒ 自己資本比率 57.0%
 (▲0.3ポイント)

※電子記録債務を含む

- ✓カaramel製品は、提案営業推進で国内デザート向け需要増加を計画
- ✓乾燥製品類は、粉末茶が堅調、即席麺向け製品等の需要増加を見込む
- ✓組立製品類は、ヘルスケア商材受託加工が底打ちも、スープ類の需要堅調
- ✓冷凍製品は、国内冷凍和菓子および冷凍山芋は堅調

(単位：百万円)

	2025/3期			2026/3期予想			
	上期	下期	通期	上期(予)	下期(予)	通期(予)	伸び率
売上高	9,257	9,443	18,701	9,600	10,100	19,700	+5.3%
カaramel製品	2,222	2,295	4,518	2,300	2,500	4,800	+6.2%
乾燥製品類	3,369	3,584	6,953	3,500	3,850	7,350	+5.7%
組立製品類	1,502	1,737	3,240	1,550	1,750	3,300	+1.9%
冷凍製品	1,632	1,222	2,854	1,650	1,350	3,000	+5.1%
その他	529	604	1,133	600	650	1,250	+10.3%

- ✓引き続き原燃料費や物流費等のコスト上昇懸念はあるが、自社製品拡販と経費削減等を推進し、営業利益は19.1%増益を計画
- ✓為替差益が無くなるも、経常利益は10.3%増益を見込む

(単位：百万円、円)

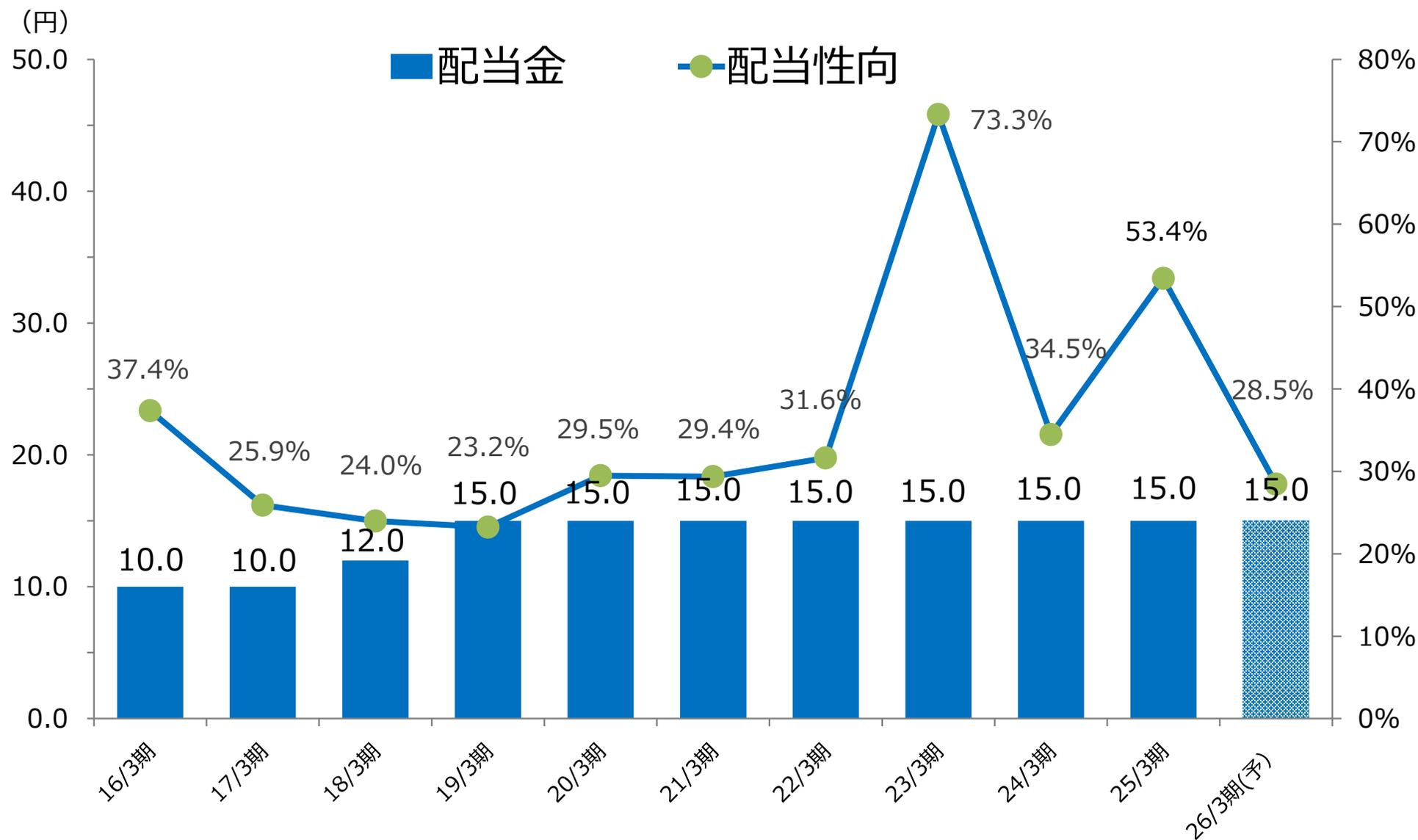
	2025/3期			2026/3期予想			
	上期	下期	通期	上期 (予)	下期 (予)	通期 (予)	伸び率
売上高	9,257	9,443	18,701	9,600	10,100	19,700	+5.3%
営業利益	299	456	755	300	600	900	+19.1%
経常利益	405	411	816	300	600	900	+10.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	261	58	319	200	400	600	+87.7%
1株純利益	22.98	5.10	28.08	17.57	35.14	52.71	-
設備投資額			741			676	
減価償却費			817			731	
研究開発費			300			348	

〈為替レート前提〉 25/3期：21.5円/元、155円/ドル、26/3期(予)：20.7円/元、150円/ドル

配当金予想

15円/株を据え置く

【2026/3期予想】



〈お問い合わせ先〉
仙波糖化工業株式会社
総務部 IR担当

TEL: 0285-82-2171

FAX: 0285-84-3283

E-Mail : ir@sembatohka.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <https://www.sembatohka.co.jp/>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。